



校長室だより 足立区立第九中学校

第122号 令和元年12月24日発行 長塚琢磨



【令和2年を拓くために！】

あと一週間で令和元年が終了します。生徒たちは、どのような気持ちで今年を締めくくめるのか、そして、令和2年をどのような夢や希望をもって迎えるのか、とても期待しています。第3学年には、間近に進路選択という大きな課題があります。また、第1・2学年には、次年度以降を見据えて、学力・体力・人間性などを磨く具体的な目標をもち、胸を張って卒業できる基礎・基本を身に付けてほしいと考えています。



リチウムイオン電池を発明し、ノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏は、「先を読み取り、自信をもつこと」の重要性を語るとともに、現在の若者たちに「今は将来の活躍のための絶好のチャンスである」「勉強と経験を積んでほしい」とエールを送っています。

生徒一人一人には、それぞれ違ったよさと無限の可能性があります。大切なことは、一人一人が自分のよさを知り、自信と希望をもって本気で取り組むことです。全生徒に、令和2年を自分の意志と行動で素敵に生きてくれることを心から願っています。

【12月に贈る詩②】 ※ 学校内に掲示してあり、リクエストがありました。

11月20日（水）の終礼で、生徒たちの素敵な行動を褒めるとともに、ラグビーワールドカップ日本代表選手の言葉から学び、一人一人がさらに素敵になるよう励ましました。当日紹介したのは4つの言葉でしたが、私が感動した別の言葉も併せて贈りたいと思います。

田村 優（たむら ゆう）

・「厳しい練習をし、努力した上で試合を楽しむ」のがモットー。
・「勝つことも負けることも、試合に出られなくて悔しい思いをすることも、すべて経験できた。それが僕にとって大きな収穫。」

稲垣 啓太（いながき けいた）

・「これは出来ない」では、世界で通用しない。
・ラグビーは5人のスポーツですが、5人の個人の努力の集合体。

松島 幸太朗（まつしま こうたろう）

・ある程度相手の動きを見て予測もするけど、疲れば疲れるほど体が勝手に反応する。
・目標は紙に書くことを心がけています。自分だけが見られるノートに書いているんです。

堀江 将太（ほりえ しょうた）

・全員が同じ方向を向いているのが強いチーム
・プライドを持って死に物狂いでやる。

田中 史朗（たなか ふみあき）

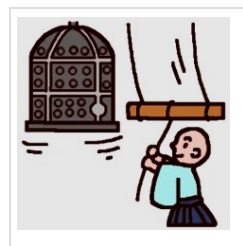
・しんどいというのは、言い訳にしかない。
・ラグビーだけじゃなく、好きなことを見つければ人生が楽しくなる。

リーチ・マイケル

・倒れたときに0.1秒でも早く立ち上がり、10cmでも少しでも前に出ていく。
・一番きついときに頑張れるかどうか。そのためには練習しかない。

【冬休み、年末・年始の過ごし方！】

冬休みには、「大晦日」「年越しそば」「除夜の鐘」「初詣」「お雑煮」などがあります。これらには、日本の文化・伝統としてとても重要な意味があることを伝えていただければ幸いです。年末・年始は、保護者や地域の皆様も大変お忙しいことと存じます。ご健康にご留意され素敵な新年を迎えられますよう心からお祈りいたします。



令和2年のスタートは1月8日（水）ですので、元気でさわやかな、そして輝く瞳の生徒と会えることを楽しみにしています。令和2年もよろしくお願いいたします。

【自分の強い意志でコントロールしよう！ ネット・ゲーム等！】

様々な新聞で、11月27日に国立病院機構久里浜医療センター（神奈川県横須賀市）が、全国の10～29歳の男女を対象に行った「ゲームの影響に関するアンケートの結果」の公表の記事を翌日（28日）に掲載していました。

公表内容では、「生活への支障はゲーム時間が長くなるほど大きく、遅刻や欠席、引きこもりにつながるケースもみられる」としています。



産経新聞の記事より

スマートフォン等の電子機器類は、生活を豊かにするために利用するものです。保護者の皆様には、フィルタリングや使用に関する家庭の約束を徹底するなど、生徒の生活が崩れることのないよう、使用の指導をよろしくお願いいたします。

【第2学年 すてきな鎌倉のプチ旅！】

12月19日（木）に鎌倉校外学習に行っていました。「一人一人が責任を果たす」「自分たちの力で創る鎌倉校外学習」という生徒の思いが、風情あふれる鎌倉の楽しいプチ旅につながったのだと考えます。



私は、歴史と伝統・文化が豊かな素敵な鎌倉のまちを歩きながら多くの生徒たちと会うことができました。頑張って歩く様子や笑顔が印象的で、第九中学校の校長として大変嬉しく思いました。係活動やコースの計画など事前の準備をしっかりしてくれたからだと考えました。



この体験を、令和2年のスタートに、そして修学旅行に生かしてほしいと願っています。

コラム：松本秀男氏（日本ほめる達人協会 専務理事）から学ぶ

11月30日（土）に「ほめ達！子育てセミナー」に参加し、人の言動の価値を発見し伝えることの重要性など大変勉強になりました。また、当たり前に行われている裏側に頑張っている人がいること、決め付けて見ると大切なものが見えなくなってしまう危険があることを改めて確認でき、感謝する心と褒める実践の意義も学びました。



私が印象に残った話は、彼は、使わない言葉として3D「でも」「だって」「どうせ」を示し、まずは自分がどうあるべきか見方を変えること、行動を変えることで生き方が変わるというプラス思考の考え方を助言してくれたことです。また、人の良いところを発見し褒めることで、場の空気も明るく変わることも話してくれました。

最後に、人間関係を鏡に例えて「鏡は先に笑わない」、「最上級の言葉はありがとうである」と話し、素敵な社会を共につくることを呼びかけてくれたと感じました。